

MITSUBISHI ELECTRIC ENGINEERING

スプリングクランプ端子台変換アダプタ

形名

FA1-TE40PA

ユーザーズマニュアル

(詳細編)

Time and Wire Saving Devices




安全上のご注意

(ご使用前に必ずお読みください)

本製品のご使用に際しては、本ユーザーズマニュアルおよび総合カタログで紹介している関連マニュアルをよくお読みいただくと共に、安全に対して十分に注意を払って、正しい取扱いをしていただくようお願いいたします。

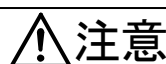
なお、この注意事項は省配線・省工数機器の製品に関するもののみについて記載したものです。製品の保護機能を損なう恐れがありますので、記載内容を逸脱して使用しないでください。シーケンサシステムとしての安全上のご注意に関しては、使用するシーケンサのユーザーズマニュアルを参照してください。

この「安全上のご注意」では、安全注意事項のランクを「警告」、「注意」として区分してあります。




警告

取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。



注意

取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害や軽傷を受ける可能性が想定される場合および物的損害だけの発生が想定される場合。

なお、注意に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

【設計上の注意事項】

警告

- 外部電源の異常、シーケンサ、本製品故障時でも、システム全体が安全側に働くように外部で安全回路を設けてください。誤出力、誤動作により、事故の恐れがあります。
 - (1) 非常停止回路、保護回路、正転／逆転などの相反する動作のインタロック回路、位置決めの上限／下限など機械の破壊防止のインタロック回路などは、必ず外部で回路構成してください。
 - (2) デジタル信号変換器 出力用のリレー、トランジスタ、トライアックなどの故障によっては、出力がONの状態を保持したり、OFFの状態を保持したりすることがあります。重大な事故につながるような出力信号については、外部で監視する回路を設けてください。
- デジタル信号変換器 出力用の出力回路において、定格以上の負荷電流または負荷短絡などによる過電流が長時間継続して流れた場合、発煙・発火の恐れがありますので外部にヒューズなどの安全回路を設けてください。
- シーケンサ本体の電源立上げ後に、外部供給電源を投入するように回路を構成してください。外部供給電源を先に立ち上げると、誤出力、誤動作により事故の恐れがあります。

【設計上の注意事項】

注意

- 制御線、通信ケーブルは、主回路や動力線などと束線したり、近接したりしないでください。100mm以上を目安として離してください。ノイズにより、誤動作、故障の原因になります。
- 高速カウンタユニット用端子台変換ユニットを使用する場合、制御線、通信ケーブルは、主回路や動力線などと束線したり、近接したりしないでください。150mm以上を目安として離してください。ノイズにより、誤動作、故障の原因になります。
- 熱電対、測温抵抗体は、主回路線や交流制御回線とは、必ず100mm 以上離してください。高圧電線やインバータの負荷回路などのように高調波を含む回路とは十分に離してください。ノイズやサージ、誘導の影響を受けやすくなります。
- 電源ON/OFF 時に出力端子から瞬間的に電圧または電流が流れることがあります。アナログ信号変換器、アナログ用端子台変換ユニットを使用する場合は、アナログ出力が安定してから制御を開始してください。
- アナログ信号変換器、アナログ用端子台変換ユニットは、磁気ノイズを発生する機器の近くに設置しないでください。
- デジタル信号変換器 出力用でランプ負荷、ヒータ、ソレノイドバルブなどを制御するとき、出力のOFF → ON 時に大きな電流(通常の10

倍程度)が流れる場合がありますので、定格電流に余裕のあるデジタル信号変換器 出力用の選定を行ってください。

【取付け上の注意事項】

警告

- 取付け作業を行うときは、必ずシステムで使用している外部供給電源を全相遮断してから行ってください。全相遮断しないと、感電あるいは製品の損傷の恐れがあります。

【取付け上の注意事項】

注意

- 本製品は本ユーザーズマニュアル記載の一般仕様の環境で使用してください。一般仕様の範囲以外の環境で使用すると、感電、火災、誤動作、製品の損傷あるいは劣化の原因になります。
- 本製品はDINレールまたはネジ締付けにより確実に固定してください。本製品が正しく装着されていないと、誤動作、故障、落下の原因になります。振動の多い環境で使用する場合は、本製品をネジで締め付けてください。
- ネジの締付けは、規定トルク範囲で行ってください。ネジの締付けがゆるいと、落下、短絡、誤動作の原因になります。ネジを締め過ぎると、ネジや本製品の破損による落下、短絡、誤動作の原因になります。
- スプリングクランプ変換ユニットは、DINレール止め金具を左右に取り付け、確実に固定してください。
- 本製品の着脱は、必ずシステムで使用している外部供給電源を全相遮断してから行ってください。全相遮断しないと製品の損傷、誤動作、故障の恐れがあります。
- 本製品の導電部分や電子部品には直接触らないでください。製品の誤動作、故障の原因になります。
- 取付け方向に指定がある場合は、取付け方向の指定通りに取付けてください。指定と異なる方向で取付けると製品の損傷あるいは劣化の原因になります。
- ネジ穴加工を行うときは、切粉が本製品内部や導電部に落とし込まれないよう注意して行ってください。火災、故障、誤動作の原因となります。
- デジタル信号変換器交換用モジュール、信号変換モジュールは、正しい組合せで使用してください。誤った組合せで使用すると故障の原因となります。
- デジタル信号変換器交換用モジュールを脱着するときは必ず電源を遮断してから行ってください。故障、誤動作の原因となることがあります。
- デジタル信号変換器交換用モジュール、信号変換モジュールは、デジタル信号変換器、ベースユニットに確実に装着してください。正しく装着されていないと、破損、落下、接触不良による誤動作の原因になります。また正しい手順で着脱を行ってください。正しく着脱が行われないと、破損、落下、接触不良による誤動作の原因になります。
- デジタル信号変換器用モジュール、信号変換モジュールをデジタル信号変換器、ベースユニットに取付けた状態で、運搬や盤への取付けを行う場合には、デジタル信号変換器、ベースユニット本体を持って作業を行うようにしてください。デジタル信号変換器用モジュール、信号変換モジュールを持って作業を行うと、デジタル信号変換器、ベースユニットの脱落や故障の原因になります。

【配線上の注意事項】

警告

- 配線作業を行うときは、必ずシステムで使用している外部供給電源を全相遮断してから行ってください。全相遮断しないと、感電あるいは製品の損傷の恐れがあります。
- 配線作業後、通電、運転を行う場合は、必ず製品に付属の端子カバーを取り付けてください。端子カバーを取り付けないと、感電の恐れがあります。

【配線上の注意事項】

⚠ 注意

- 圧着端子は適合圧着端子を使用し、規定のトルクで締め付けてください。適合圧着端子を使用しなかったり、規定外のトルクで締め付けると、故障、破損、誤動作の原因になります。
- 本製品への配線は、製品の定格電圧および端子配列を確認した上で正しく行ってください。定格と異なった電圧の入力や、電源を接続、誤配線をする、火災、故障の原因になります。
- 制御線や通信ケーブルは、主回路や動力線などと束線したり、近接したりしないでください。100mm 以上を目安として離してください。ノイズにより、誤動作の原因になります。
- 高速カウンタユニット用端子台変換ユニットを使用する場合、制御線、通信ケーブルは、主回路や動力線などと束線したり、近接したりしないでください。150mm以上を目安として離してください。ノイズにより、誤動作、故障の原因になります。
- 熱電対、測温抵抗体は、主回路線や交流制御回線とは、必ず100mm 以上離してください。高圧電線やインバータの負荷回路などのように高調波を含む回路とは十分に離してください。ノイズやサージ、誘導の影響を受けやすくなります。
- アナログ信号変換器、アナログ用端子台変換ユニットは、磁気ノイズを発生する機器の近くに設置しないでください。
- 本製品に接続する電線やケーブルは、必ずダクトに納めるか、またはクランプによる固定処理を行ってください。ケーブルをダクトに納めなかったり、クランプによる固定処理をしていないと、ケーブルのふらつきや移動、不注意の引っ張りなどによる本製品やケーブルの破損、ケーブルの接続不良による誤動作の原因となります。
- 端子ネジの締め付けは、規定トルク範囲で行ってください。端子ネジの締め付けがゆるいと、短絡、火災、誤動作の原因になります。端子ネジを締め過ぎると、ネジや本製品の破損による落下、短絡、誤動作の原因になります。
- コネクタ取付けネジの締め付けは、規定トルク範囲で行ってください。ネジの締め付けがゆるいと、短絡、火災、誤動作の原因になります。ネジを締め過ぎると、ネジや本製品の破損による落下、短絡、火災、誤動作の原因になります。
- コネクタは確実に本製品に取り付けてください。取付けが不確実だと誤動作の原因になります。
- 本製品に接続されたケーブルを取りはずすときは、ケーブル部分を手に持って引っ張らないでください。コネクタ付きのケーブルは、本製品の接続部分のコネクタを手で持って取りはずしてください。端子台接続のケーブルは、端子台端子ネジを緩めてから取りはずしてください。本製品に接続された状態でケーブルを引っ張ると、誤動作または本製品やケーブルの破損の原因となります。
- ケーブル接続は、接続するインタフェースの種類を確認の上、正しく行ってください。異なったインタフェースに接続または誤配線すると、本製品、外部機器の故障の原因となります。
- 本製品内に、切粉や配線クズなどの異物が入らないように注意してください。火災、故障、誤動作の原因になります。
- 本製品は、制御盤内に設置して使用してください。制御盤内に設置された本製品への主電源配線に関しては、中継端子台を介して行ってください。また、本製品の交換と配線作業は、感電保護に対して、十分に教育を受けたメンテナンス作業者が行ってください。
- シーケンサと接続する際は、製品構成が正しいことを確認してください。誤った構成で接続すると、故障、誤動作の原因になります。
- 本製品のコネクタには力が加わらない状態で使用してください。故障や断線の原因になります。
- 本製品の未使用コネクタ、空きスロットには保護カバーや信号変換モジュールを装着してください。カバー等が装着されていないと異物により、火災、故障、誤動作の原因になります。
- デジタル信号変換器交換用モジュール、信号変換モジュールは、正しい組合せで使用してください。誤った組合せで使用するとシーケンサ、デジタル信号変換器、ベースユニット、外部機器の故障の原因となります。
- デジタル信号変換器交換用モジュール、信号変換モジュールは、デジタル信号変換器、ベースユニットに確実に装着してください。正しく装着されていないと、破損、落下、接触不良による誤動作の原因になります。また、正しい手順で着脱を行ってください。正しく着脱が行われないと、破損、落下、接触不良による誤動作の原因になります。
- FG 端子は、本製品専用の D 種接地(第三種接地)以上で必ず接地を行ってください。感電、誤動作の恐れがあります。

【立上げ・保守時の注意事項】

警告

- 通電中に端子に触れないでください。感電または誤動作の原因になります。
- 清掃または、端子ネジ、コネクタ取付けネジ、本製品固定ネジの増し締めは、必ずシステムで使用している外部供給電源を全相遮断してから行ってください。全相遮断しないと、感電、本製品の故障や誤動作の恐れがあります。ネジの締め付けがゆるいと、落下、短絡、誤動作の原因になります。ネジを締め過ぎると、ネジや本製品の破損による落下、短絡、誤動作の原因になります。

【立上げ・保守時の注意事項】

注意

- 本製品の分解、改造はしないでください。故障、誤動作、ケガ、火災の原因になります。
- 携帯電話やPHSなどの無線通信機器は、シーケンサ、本製品の全方向から25cm以上離して使用するようになしてください。誤動作の原因になります。
- 本製品の着脱は、必ずシステムで使用している外部供給電源を全相遮断してから行ってください。全相遮断しないと本製品の故障や誤動作、損傷の原因になります。
- 本製品、ケーブル等の着脱は、製品ご使用後、50回以内としてください。なお、50回を超えた場合は、誤動作の原因となる恐れがあります。
- 制御盤内での立上げ・保守作業は、感電保護に対して、十分に教育を受けたメンテナンス作業者が行ってください。また、メンテナンス作業以外が制御盤を操作できないよう、制御盤に鍵をかけるようになしてください。
- 本製品には、下記の静電気敏感性シンボルマークを表示しています。このシンボルマークは、本製品が静電気の影響を受けやすいことを示しています。本製品に触れる前には、必ず接地された金属などに触れて、人体などに帯電している静電気を放電してください。静電気を放電しないと、本製品の故障や誤動作の原因になります。また通電中は、本製品に触らないでください。ケガや人体の静電気によるユニットの誤動作の原因になります。



【廃棄時の注意事項】

注意

- 製品を廃棄するときは、産業廃棄物として扱ってください。

【輸送時の注意事項】

注意

- 本製品は精密機器のため、輸送の間一般仕様の範囲を超える衝撃は避けてください。故障の原因になります。
- 木製梱包材の消毒および除虫対策のくん蒸剤に含まれるハロゲン系物質(フッ素、塩素、臭素、ヨウ素など)が当社製品に侵入すると故障の原因となります。残留したくん蒸成分が当社製品に侵入しないようご注意ください。くん蒸以外の方法(熱処理など)で処理してください。なお、消毒および除虫対策は梱包前の木材の段階で実施してください。

EMC 指令・低電圧指令

欧州域内で発売される製品に対しては、1996年から欧州指令の1つであるEMC指令への適合証明が法的に義務づけられています。また、1997年から欧州指令の1つである低電圧指令への適合も法的に義務づけられています。

EMC指令および低電圧指令に適合していると製造者が認めるものは、製造者自ら適合宣言を行い、“CEマーク”を表示する必要があります。

(1) EU域内販売責任者

EU域内販売責任者は下記のとおりです。

会社名：Mitsubishi Electric Europe B.V.

住所：Mitsubishi-Electric-Platz 1, 40882 Ratingen, Germany

(2) EMC指令・低電圧指令への適合について^{*1}

お客様の製品にEMC指令・低電圧指令適合品の製品を組み込み、EMC指令・低電圧指令に適合させる場合は、Web(MEEFAN)よりEMC指令・低電圧指令対応マニュアル「50D-FA9010-082」を参照してください。

*1: FA1-TE40PAは対象外です。

改定履歴

*取扱説明書番号は、本説明書の最終頁の左下に記載してあります。

印刷日付	*取扱説明書番号	改訂内容
2020年8月	50D-FG0473	初版印刷
2020年9月	50D-FG0473-A	一部追加 接続対象機種追加：RD77MS2, QD77MS2 5-2. スプリングクランプ端子台への配線時, 8. 接続対象機種 シーケンサユニット
2023年9月	50D-FG0473-B	一部追加 接続対象機種追加：Q172DLX, Q172LX Q173DPX, Q173PX, Q173PX-S1 5-2. スプリングクランプ端子台への配線時, 8. 接続対象機種 シーケンサユニット

本書によって、工業所有権その他の権利の実施に対する保証、または実施権を許諾するものではありません。また本書の掲載内容の使用により起因する工業所有権上の諸問題については、当社は一切その責任を負うことができません。

© 2020(2023) MITSUBISHI ELECTRIC ENGINEERING COMPANY LIMITED

安全上のご注意	2
EMC 指令・低電圧指令	5
改定履歴	6
目次	7
1. 概要	8
2. 一般仕様	8
3. 性能仕様	9
4. 各部の名称	10
5. 取付け方法	11
5-1. シーケンサユニットへの接続時	11
5-2. スプリングクランプ端子台への配線時	12
6. 内部接続図	15
7. 適合フェルール端子	16
8. 接続対象機種 シーケンサユニット	17
9. 外形寸法図	18
9-1. スプリングクランプ端子台変換アダプタ(FA1-TE40PA)	18
9-2. 奥行き寸法及び高さ寸法	19
10. 使用時の注意事項	20
11. 保証の範囲	20
12. 機会損失, 二次損失などへの保証責務の除外	20
13. 商標	20

1. 概要

本ユーザズマニュアルは、三菱電機株式会社製シーケンサ 入出力ユニット,高速カウンタユニット,または位置決めユニットと組み合わせて使用するスプリングクランプ端子台変換アダプタの仕様などについて説明したものです。

2. 一般仕様

項目		仕様	
形名		FA1-TE40PA	
使用周囲温度		0~55℃(高温対応ベースユニットを使用しない場合) 0~60℃(高温対応ベースユニットを使用する場合)	
保存周囲温度		-25~75℃	
使用周囲湿度		5~95%RH, 結露なきこと	
保存周囲湿度		5~95%RH, 結露なきこと	
耐振動	準拠規格	JIS B 3502, IEC61131-2	
	断続的な振動がある場合	5~8.4Hz	片振幅: 3.5mm
		8.4~150Hz	加速度: 9.8m/s ² (1G)
		掃引回数	X, Y, Z軸方向各10回
	連続的な振動がある場合	5~8.4Hz	片振幅: 1.75mm
		8.4~150Hz	加速度: 4.9m/s ² (0.5G)
掃引回数		-	
耐衝撃		JIS B 3502, IEC61131-2に準拠(147m/s ² (15G), XYZ軸方向各3回)	
使用雰囲気		腐食性ガスがないこと	
使用標高* ¹		2000m以下	
設置場所		制御盤内* ⁴ , 屋内使用	
オーバervoltageカテゴリ* ²		II 以下	
汚染度* ³		2以下	

*1: 標高0mの大気圧以上に加圧した環境で使用または保存しないでください。使用した場合は、誤動作する可能性があります。

*2: その機器が公衆配電網から構内の機械装置に至るまでのどこの配電部に接続されていることを想定しているかを示します。

*3: その機器が使用される環境における導電性物質の発生度合を示す指標です。

*4: 本製品は開放形の製品です。保護構造がUL50 Type1 IP20 以上の盤内に設置し、「一般仕様」に記載している環境で使用してください。

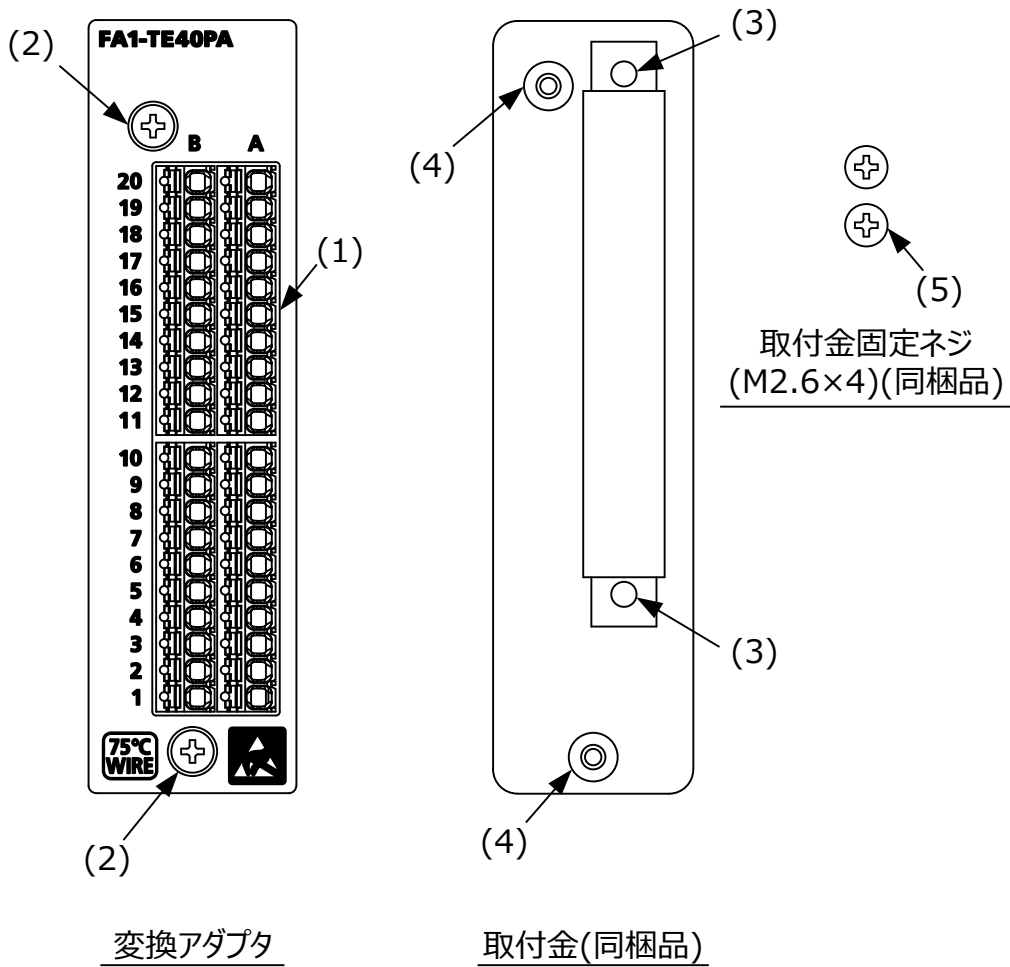
3. 性能仕様

項目		形名	FA1-TE40PA
点数			40点
定格電圧			DC24V(Class2) ^{*2}
最大使用電圧			DC30V(Class2) ^{*2}
最大使用電流			0.5A/pt,2A/pt(1A,2A,1B,2B)
端子台部	端子数		端子 40点
	適合電線 ^{*1}	フェール端子未使用時 (より線,単線)	0.2~1.5mm ² (AWG24-16) 温度規格 75℃以上の銅線
		フェール端子使用時 (より線)	0.08~0.75mm ² (AWG28-18) 温度規格 75℃以上の銅線
	電線ストリップ長		8mm
適合締付けトルク	取付金固定ネジ (M2.6×4)		0.20~0.29N・m
	変換アダプタ取付けネジ (M3×20)		0.43~0.57N・m
絶縁耐圧			AC500V 1分間
絶縁抵抗(初期)			DC500V 絶縁抵抗計にて 10MΩ以上
質量			約 100g(取付金,ネジ含む)

*1 : ご使用の電流値に沿った電線を選定してください。

*2 : 供給電源はClass2電源またはSELV(Safety Extra-Low Voltage)回路とLIM(Limited Energy Circuit)回路に準拠した電源を使用してください。0

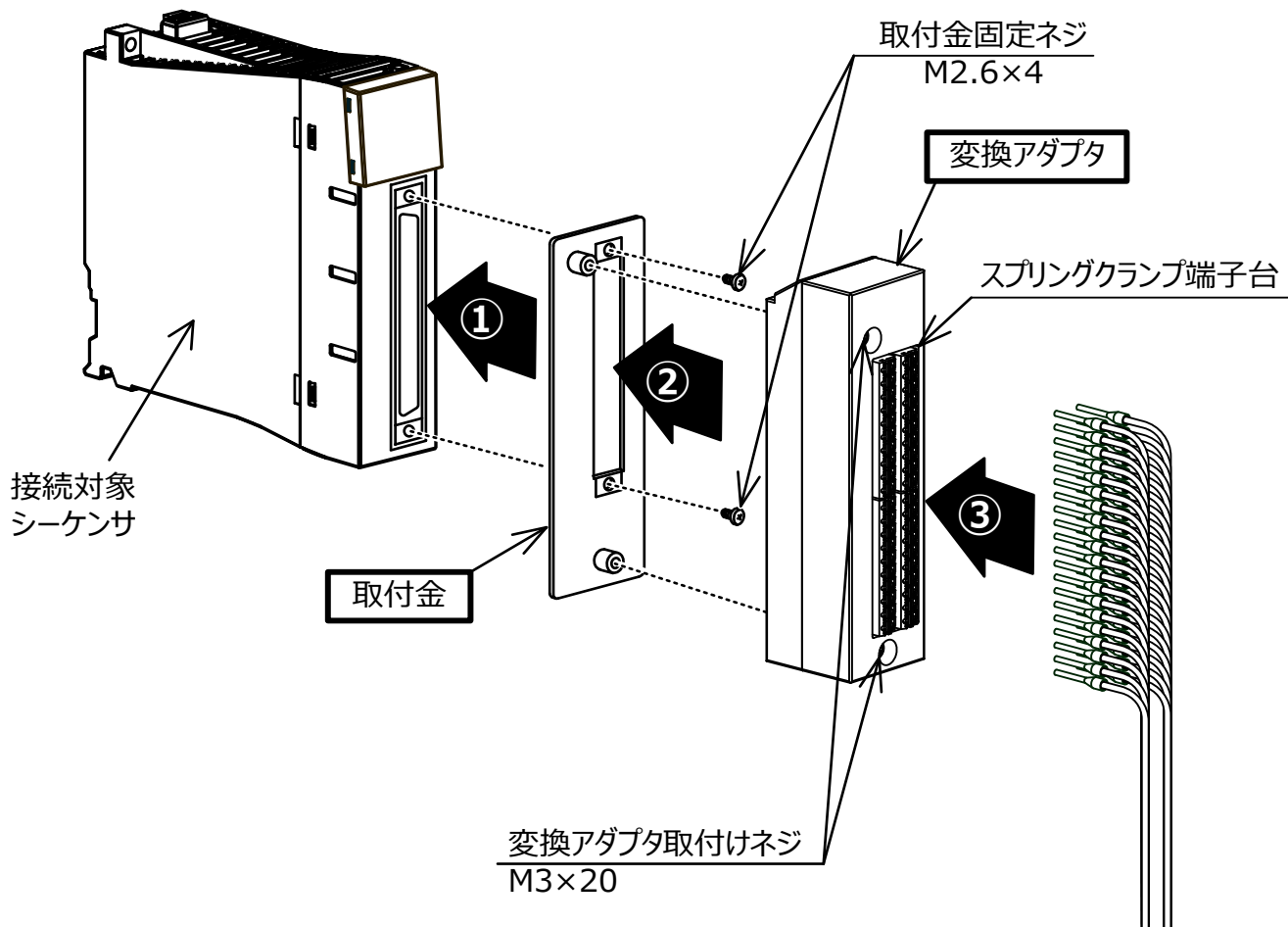
4. 各部の名称



番号	名称	内容
(1)	スプリングクランプ端子台	信号の外部配線を接続するための端子台です。
(2)	変換アダプタ取付けネジ(M3×20)	変換アダプタを取付金に取付けるためのネジです。
(3)	取付金取り付け用穴	シーケンサに取付金を固定するための穴です。
(4)	変換アダプタ取り付け用穴	取付金に変換アダプタを固定するための穴です。
(5)	取付金固定ネジ(M2.6×4)(同梱品)	シーケンサに取付金を固定するためのネジです。

5. 取付け方法

5-1. シーケンサユニットへの接続時



- ① 取付金を接続対象シーケンサに取付金固定ネジ(M2.6×4)で固定してください。(上下2ヶ所)
- ② 取付金の上に変換アダプタを装着し、変換アダプタ取付けネジ(M3×20)で変換アダプタを固定してください。(2ヶ所)

注意

ネジを締付ける前に、変換アダプタが接続対象シーケンサへ確実に装着されていることを確認してください。浮いた状態や傾いた状態でネジを締付けたら、変換アダプタ取付けネジおよび取付金の破損の原因になります。

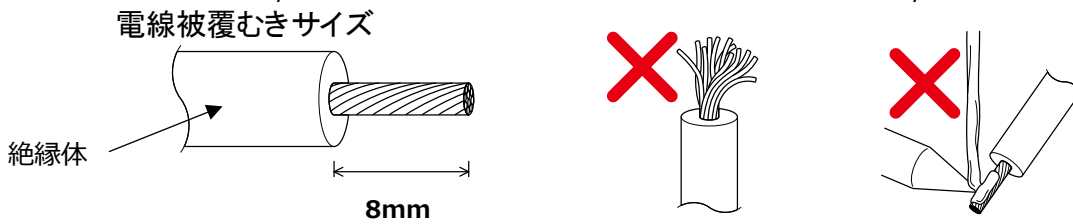
- ③ スプリングクランプ端子台に配線してください。

5-2. スプリングクランプ端子台への配線時

(1)電線の取付け

(a)電線絶縁体の加工

次の寸法で被覆をむいてください。むき長さが長すぎると隣の線と短絡の恐れがあります。短すぎると線が抜ける恐れがあります。電線は、ばらつかないように撚って配線処理をしてください。また、半田処理はしないでください。



(b)フェルル端子を使用する場合

電線にフェルル端子を押し込んで圧着します。

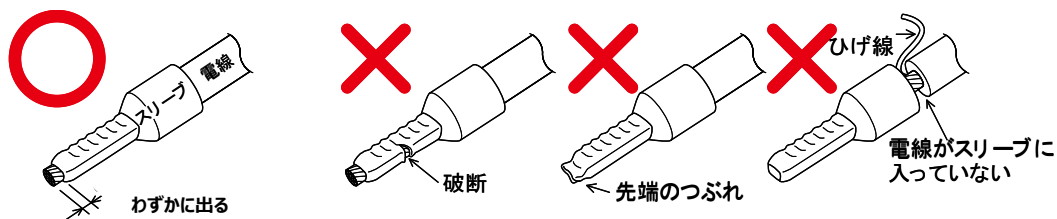
電線の芯線部分がフェルルからわずかに出る位置になるように差し込んでください。

圧着後、フェルル端子の外観を確認してください。正しく圧着できていなかったり、側面が損傷しているフェルル端子は使用しないでください。

※本製品の端子台に適合するフェルル端子は、2本以上の電線を同時に圧着できません。

電源など、複数の電線について結線が必要な場合には、外部端子にてコモンをとってください。

(例：高速カウンタユニットのABCOMや、シンプルモーションユニットのCOMなど)

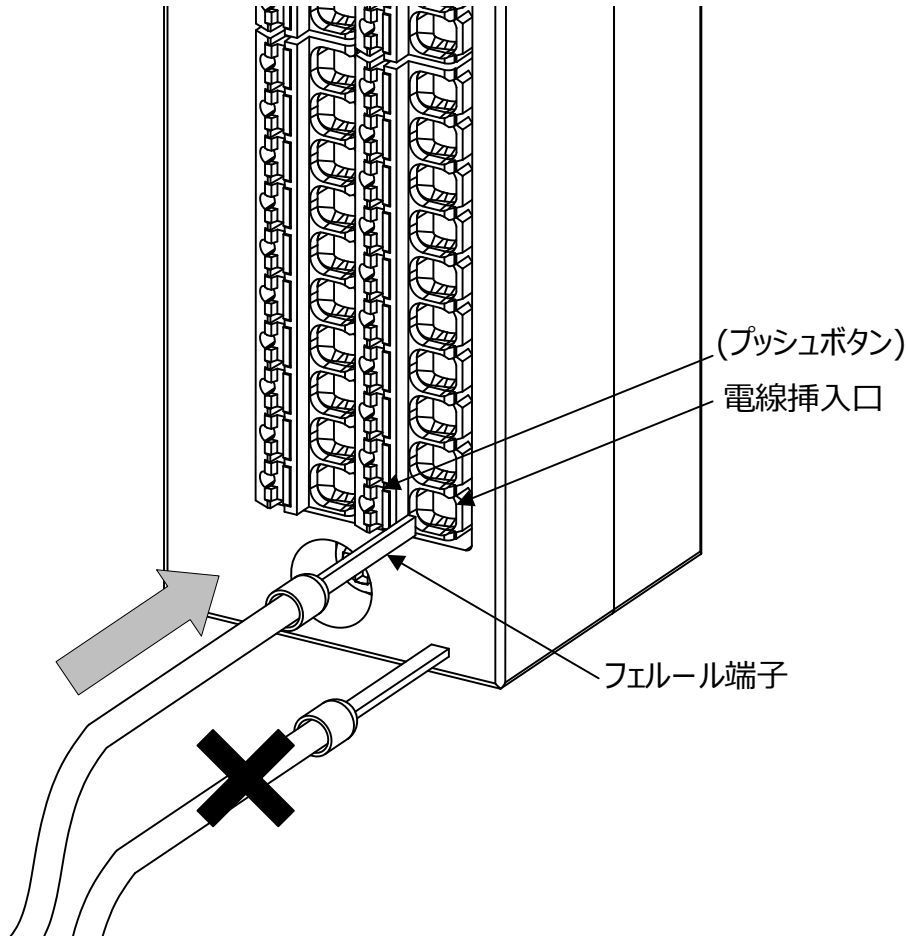


(c)電線の挿入

フェール付電線または、単線の場合はそのまま電線挿入口に差し込み可能です。差し込み後、電線を軽く引っ張り抜けないことを確認してください。また、端子の挿入方向は、下記の向きにしてください。

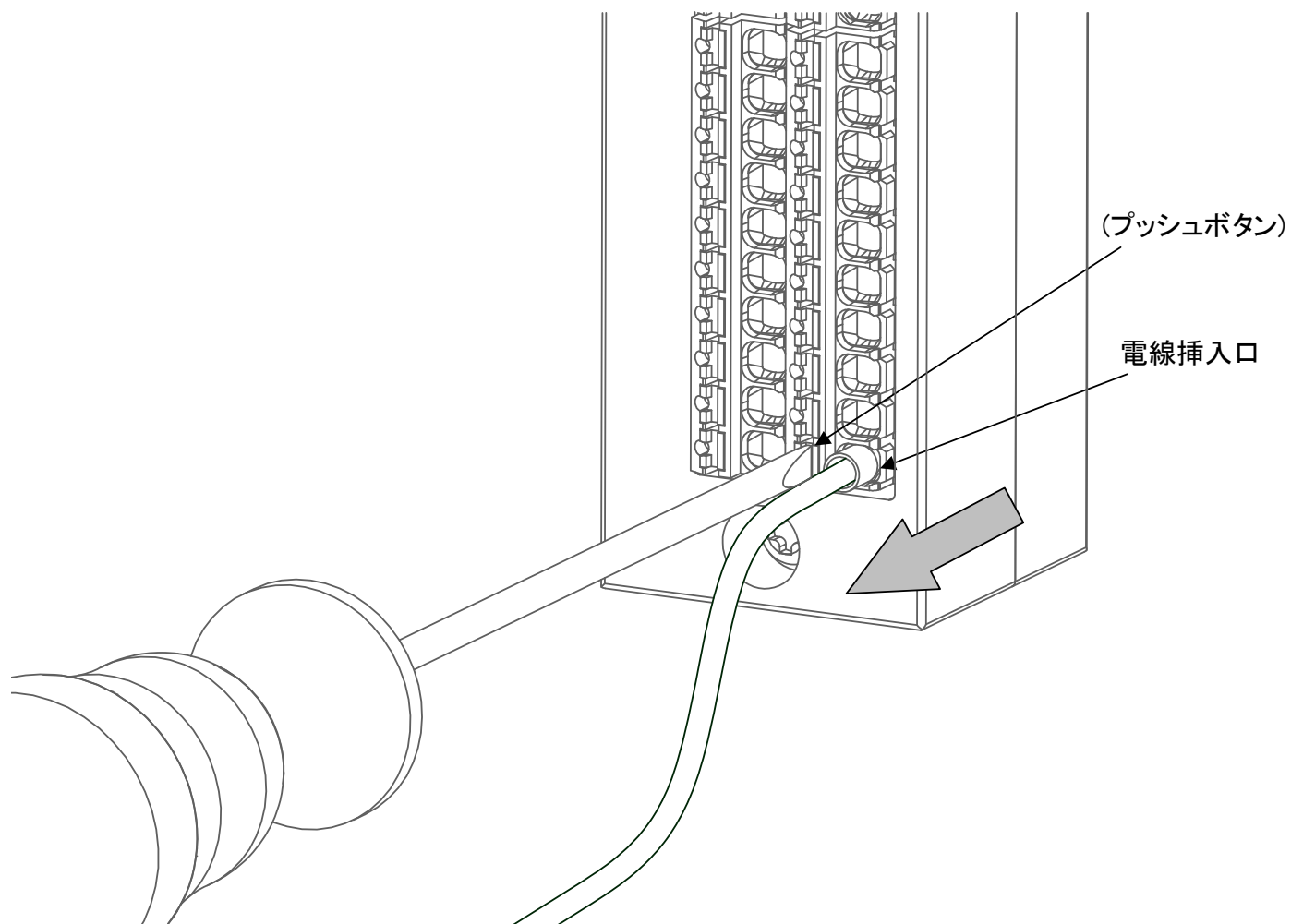
撚り線を結線する場合、ドライバを使用してプッシュボタンを押した状態で、電線挿入口に撚り線を挿しこんでください。

※フェール端子を真っ直ぐ垂直に奥まで、確実に差し込んでください。



(2)電線の取り外し

ドライバで押しボタンをしっかりと奥まで押した状態で、電線を引き抜いてください。



押しボタンを操作する際に使用するドライバは、下記推奨工具をご使用下さい。

推奨工具(ドライバ)		
メーカー名	型番	刃先寸法
フエニクス・コンタクト株式会社	SZS 0,4×2,5 VDE	2.5x0.4mm

6. 内部接続図

40ピンコネクタ

B20	○ ○	A20
B19	○ ○	A19
B18	○ ○	A18
B17	○ ○	A17
B16	○ ○	A16
B15	○ ○	A15
B14	○ ○	A14
B13	○ ○	A13
B12	○ ○	A12
B11	○ ○	A11
B10	○ ○	A10
B9	○ ○	A9
B8	○ ○	A8
B7	○ ○	A7
B6	○ ○	A6
B5	○ ○	A5
B4	○ ○	A4
B3	○ ○	A3
B2	○ ○	A2
B1	○ ○	A1

ピン番号		ピン番号
B20		B20
B19		B19
B18		B18
B17		B17
B16		B16
B15		B15
B14		B14
B13		B13
B12		B12
B11		B11
B10		B10
B9		B9
B8		B8
B7		B7
B6		B6
B5		B5
B4		B4
B3		B3
B2		B2
B1		B1
A20		A20
A19		A19
A18		A18
A17		A17
A16		A16
A15		A15
A14		A14
A13		A13
A12		A12
A11		A11
A10		A10
A9		A9
A8		A8
A7		A7
A6		A6
A5		A5
A4		A4
A3		A3
A2		A2
A1		A1

変換アダプタ

スプリングクランプ
端子台

B20	A20
B19	A19
B18	A18
B17	A17
B16	A16
B15	A15
B14	A14
B13	A13
B12	A12
B11	A11
B10	A10
B9	A9
B8	A8
B7	A7
B6	A6
B5	A5
B4	A4
B3	A3
B2	A2
B1	A1

定格電流値

—: 2.0A

—: 0.5A

7. 適合フェルール端子

種類		適合フェルール端子	圧着工具
メーカー名	適合電線サイズ		
フェニックス・コンタクト株式会社	0.25/24	AI 0.25-8 YE	CRIMPFOX 6
	0.3, 0.34/22	AI 0.34-8 TQ	
	0.5/20	AI 0.5-8 WH	
	0.75/18	AI 0.75-8 GY	
ワゴジャパン株式会社	0.08~0.34 mm ² /AWG28~22	216-302	206-220
	0.34 mm ² /AWG24 および 22	216-302	206-1204, 206-204
	0.5 mm ² /AWG22 および 20	216-201	
	0.75 mm ² /AWG20 および 18	216-202	

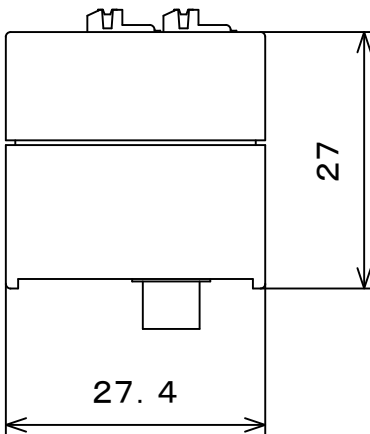
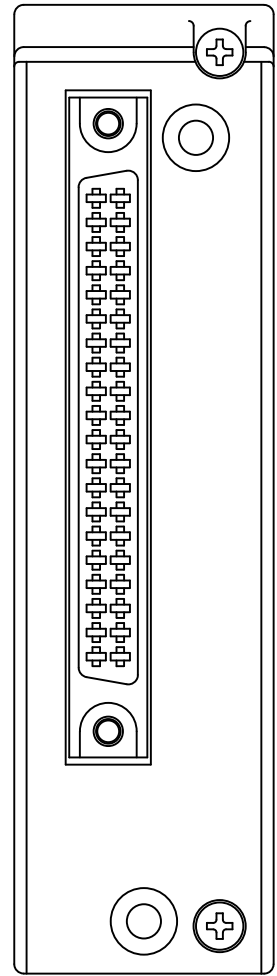
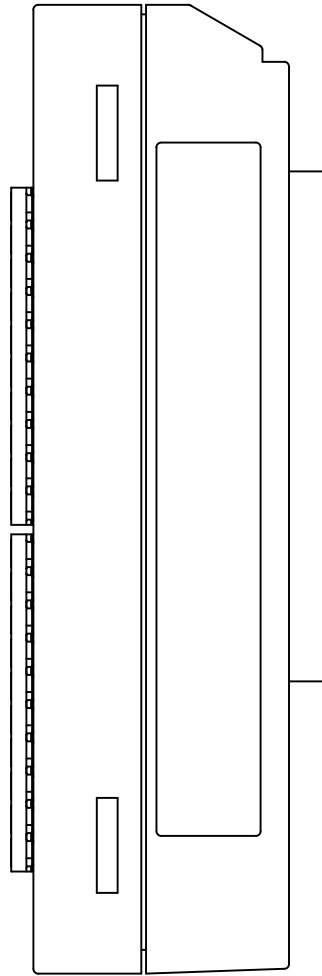
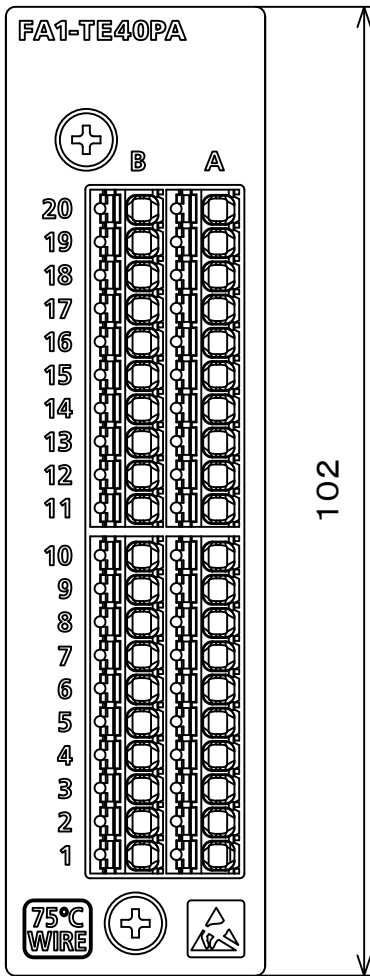
8. 接続対象機種 シーケンサユニット

シーケンサユニット形名			ユニット形名
MELSEC iQ-R シリーズ コネクタタイプ	入力ユニット	RX41C4 RX41C6HS RX71C4 RX61C6HS	
	出力ユニット	RY41NT2P RY41PT1P RY41NT2H RY41PT2H	
	高速カウンタユニット	RD62P2 RD62P2E RD62D2	
	位置決めユニット	RD75P2	
	シンプルモーションユニット	RD77MS2	
MELSEC-Q シリーズ コネクタタイプ	入力ユニット	QX41 QX41-S1 QX41-S2 QX71	FA1-TE40PA
	出力ユニット	QY41P QY41H QY71	
	高速カウンタユニット	QD62 QD62E QD62D QD63P6 QD64D2	
	位置決めユニット	QD75P1/QD75P1N QD75D1/QD75D1N QD75P2/QD75P2N QD75D2/QD75D2N QD70P4	
	シンプルモーションユニット	QD77MS2	
	サーボ外部信号入力ユニット	Q172DLX/Q172LX	
	手動パルス入力ユニット	Q173DPX/Q173PX/Q173PX-S1	
MELSEC-L シリーズ コネクタタイプ	入力ユニット	LX41C4	
	出力ユニット	LY41NT1P LY41PT1P	
	高速カウンタユニット	LD62 LD62D	
	位置決めユニット	LD75P1 LD75D1 LD75P2 LD75D2	

9. 外形寸法図

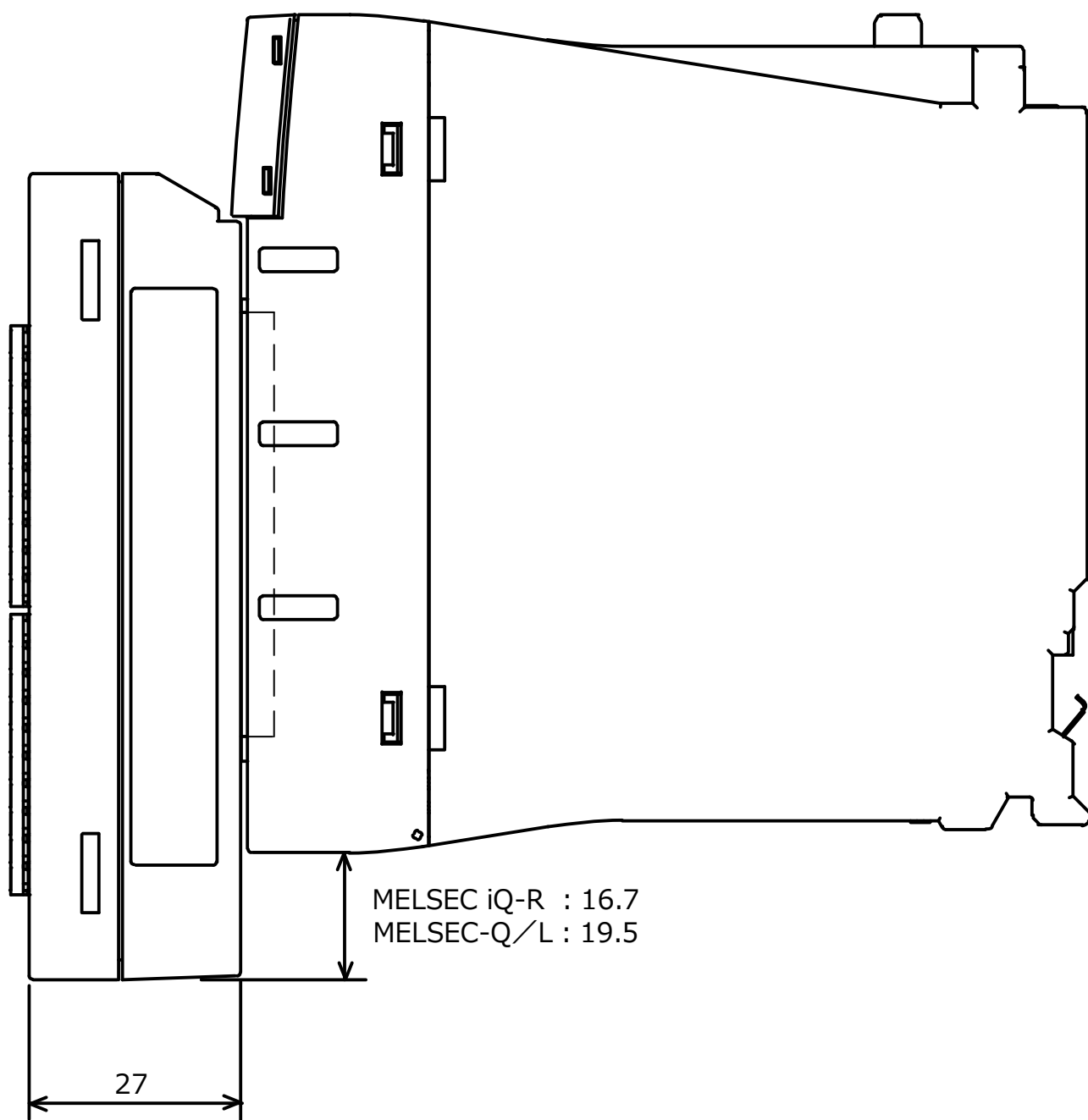
9-1. スプリングクランプ端子台変換アダプタ(FA1-TE40PA)

[単位 : mm]



9-2. 奥行き寸法及び高さ寸法

[単位 : mm]



10. 使用時の注意事項

(1) 端子台への配線は、接続するシーケンサユニットの三菱電機株式会社発行マニュアルをご参照ください。

11. 保証の範囲

無償保証期間中に、製品に当社側の責任による故障や瑕疵(以下併せて「故障」と呼びます)が発生した場合、当社はお買い上げいただきました販売店を通じて、故障した製品と引換えに無償で製品の代品を納入させていただきます。

●無償保証期間

製品の無償保証期間は、お客様にてご購入後またはご指定場所に納入後1年間とさせていただきます。

ただし、当社製品出荷後の流通期間を最長6か月として、製造から18か月を無償保証期間の上限とさせていただきます。また修理品の無償保証期間は、修理前の無償保証期間を超えて長くなることはありません。

●無償保証範囲

(1)使用状態、使用方法および使用環境などが、取扱説明書などに記載された製品の仕様、条件、注意事項などにしたがった正常な状態で使用されている場合に限定させていただきます。

(2)無償保証期間内であっても、以下の場合には有償による代品納入とさせていただきます。

- ①お客様における不適切な保管や取扱い、不注意、過失などにより生じた故障およびお客様のハードウェアまたはソフトウェア設計内容に起因した故障。
- ②お客様にて当社の了解なく製品に改造などの手を加えたことに起因する故障。
- ③当社製品がお客様の機器に組み込まれて使用された場合、お客様の機器が受けている法的規制による安全装置または業界の通念上備えられているべきと判断される機能・構造などを備えていれば回避できたと認められる故障。
- ④取扱説明書などに指定された消耗部品が正常に保守・交換されていれば防げたと認められる故障。
- ⑤消耗部品(リレー等)の交換。
- ⑥火災、異常電圧などの不可抗力による外部要因および地震、雷、風水害などの天変地異による故障。
- ⑦当社出荷当時の科学技術の水準では予見できなかった事由による故障。
- ⑧その他、当社の責任外の場合またはお客様が当社責任外と認めた故障。

12. 機会損失、二次損失などへの保証責務の除外

無償保証期間の内外を問わず、当社の責に帰すことができない事由から生じた損害、当社製品の故障に起因するお客様での機会損失、逸失利益、当社の予見の有無を問わず特別の事情から生じた損害、二次損害、事故補償、当社製品以外への損害および、お客様による交換作業、現地機械設備の再調整、立上げ運転その他の業務に対する補償については、当社は責任を負いかねます。

13. 商標

MELSEC, MELSEC iQ-R, CC-Link, CC-Link IE および CC-Link/LT は、三菱電機株式会社の商標または登録商標です。その他、本文中における会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

本文中で、商標記号(™, ®)は明記していない場合があります。



安全にお使いいただくために

- この製品は一般工業等を対象とした汎用品として製作されたもので、人命にかかわるような状況下で使用される機器あるいはシステムに用いられることを目的としたものではありません。
- この製品を原子力用、電力用、航空宇宙用、医療用、乗用移動体用の機器あるいはシステムなど特殊用途への適用をご検討の際には、当社の営業担当窓口までご照会ください。
- この製品は厳重な品質管理体制の下に製造しておりますが、この製品の故障により重大な事故または損失の発生が予測される設備への適用に際しては、バックアップやフェールセーフ機能を系統的に設置してください。

三菱電機エンジニアリング株式会社

営業統括部

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-13-5(ヒューリック九段ビル)
TEL(03)3288-1743

東日本営業支社 TEL(03)3288-1743

中日本営業支社 TEL(052)565-3435

西日本営業支社 TEL(06)6347-2926

中 四 国 支 店 TEL(082)248-5390

九 州 支 店 TEL(092)721-2202

技術お問い合わせ

名古屋事業所 技術サポート

TEL(0568)36-2068

受付/9:00~12:00, 13:00~17:00 月曜~金曜
(土・日・祝日, 春季・夏季・年末年始の休日を除く通常業務日)

三菱電機エンジニアリング株式会社FA機器の最新情報を掲載
スマート工場実現に向けトータルソリューションでサポートします

MEEFAN

検索



<https://www.mee.co.jp/sales/fa/meefan/>

50D-FG0473-B(2309)MEE